

NEWS

「新入社員 安全衛生教育・研修」開催

安全衛生委員会(加山昌弘委員長)は、9月14日(水)午後1時30分から協会3階会議室において「新入社員 安全衛生教育・研修」を開催しました。講師として豊田ケミカルエンジニアリング株式会社 コーポレート部 安全推進グループ グループリーダー 小坂哲郎氏、高和興業株式会社 営業部 課長 佐藤智和氏をお招きして、会員各社の新入社員30名が参加しました。



開講挨拶をする
加山安全衛生委員長

開講のはじめに加山委員長は「当業界は事故が多い業種です。何故事故が多いかというと、会社によっては設備が不完全だということもありますが、本人の自覚が薄いということも原因の一つです。自分の命は自分で守る！

を肝に銘じてください。例え皆さんの作業場所が狭い環境であっても、いかに事故に遭わないように作業を行うかどうか、皆さんの意識次第で変わってきます。本日の講師は安全衛生委員会のメンバーであり、現場のエキスパートが担当しております。是非講師の生きた言葉を、明日から業務の中で活かしてください。」と安全への願いを込めた挨拶を述べました。

次に、環境アドバイザー 相宮良一氏から資料「マニフェストのながれ」に沿って、電子マニフェストについての解説と、システム導入についての案内がありました。



講師の高和興業(株)
佐藤課長

その後研修会が始まり、研修Ⅰは、高和興業(株)の佐藤課長が講師となり、①安全衛生管理の必要性 ②労働災害統計 ③労働安全衛生法の体系 ④安全のルール ⑤ハインリッヒの法則 ⑥ヒヤリ・ハットとその事例 ⑦危

険予知訓練(KYT)のすすめ ⑧職場で実施する危険予知(KY)活動 ⑨作業(仕事)に関する心得、について講義されました。中でもヒヤリ・ハット事例では、脚立を使用して2名で荷の上げ下ろしについて、上から荷物を降ろし、下の者に荷物を渡すときにバランスを崩しやすいので、2名で連携をとり作業を行うと事故防止になる、という現場ならではのアドバイスがありました。



講師の豊田ケミカル
エンジニアリング(株)
小坂グループリーダー

研修Ⅱでは、豊田ケミカルエンジニアリング(株)の小坂グループリーダーが講師となり、⑩整理整頓 ⑪正しい作業服装の基準と正しい保護具 ⑫事業場内の通行 ⑬5S運動(活動) ⑭熱中症と対策 ⑮メンタルヘルス ⑯危険物・有害物の取扱について

⑰災害時の対応と救急措置について ⑱労働災害事例について、講義されました。現場からの注意点として、危険物・有害物について、その性状を知っておくことが重要である、と断言されました。例として発火性のあるアセチレンガスは立てて保管する！横に倒して保管しておくことと爆発することがあり、重大事故につながるため、危険物に対して十分な知識が必要であることを強調されました。

開講の挨拶で安全衛生副委員長である渡邊 修専務理事は「産廃業界は労働災害が多く、愛知県は全国ワースト4位です。中でも挟まれ、巻き込まれ、墜落等が多く、人的ミスで起こる事故が目立ちます。人はミスを犯すものです。うっかり、ほんやりが労働災害につながります。ご安全に、の意識を持って本日の内容を社に持ち帰り、労働災害0を目指してください。」と述べ、研修会は終了しました。